

おおさとスマートスポーツパーク構想第2回住民説明会

質疑応答・意見書概要(R6.8.30 現在版)

【質疑応答】

Q 以前の資料では、検討期限が7月とあった。開発が後ろ倒しになることで、吉田川河道掘削工事の残土提供は間に合うのか。

A (町) 国土交通省の工事スケジュールを勘案し、町として最大限の受け入れができるようにと考えて、町的意思決定の日として設定していた。想定スケジュールを後ろ倒しにせざるを得ない状況となったが、引き続き連携を図れるよう協議を継続している。

Q 町としての事業実施可否の期限はいつだと考えているか。

A (町) 地域未来投資促進法に基づく計画期間は5年となっており、施設の整備計画等から逆算すると年内に結論付けなければならないと考えている。

Q なぜ赤字の企業を町が信頼できるのか。

A (町) 経営戦略上、人材育成や事業立ち上げの時期のためであると伺っている。

(X) SSP事業は初年度から黒字経営ができるよう計画を立て、宮城県にも承認いただいている。

Q なぜこの事業に執着するのか。

A (町) 町がおかれている少子高齢化の現状は待ったなしである。一日でも早く対応しなければならない。

Q 万が一計画がとん挫した場合や撤退となった場合、町が手を付けられない土地が残るのではないか。

A (町) 土地の賃貸借契約において、町の不利益とならないような契約を結ぶ。町とスポーツX社の2者間だけでなく、弁護士によるリーガルチェックを行うことはもちろんのこと、議会や皆さんに対して契約内容を示して確認をいただいきたい。

Q 事業の内容は素晴らしいが、この事業が成功する根拠がない。本当にできるのか。

A (X) 事業化の検討にあたり、市場調査を行い、見込みがあると判断している。また、広島県で類似施設の運営を行っており、ノウハウを蓄積しているほか、自社グループのネットワークを活用し、十分な集客を挙げられる見込みがある。

Q 12面ものグラウンドは本当に必要なのか。

A (X) 宮城県内の市場調査を行い、12面のサッカーグラウンド需要が見込めると考えており、宮城県にも承認いただいている。

Q 施設は一般にも開放するのか。

A (X) 一般開放してまいります。

【意見書】 ※長文のため、いただいたご意見については要約しております。

- ・年間20人しか子供が生まれていない。少子化の影響は子供の教育の機会を奪う。行政だけではサポートしきれない面を企業が補ってくれる。どうせできないではなく、どうしたらできるのか一緒に考えるべきではないか。(味明地区)
- ・この事業に対して町長があまりにも熱く語り続ける姿勢に不信感を持っている。今の時代にサッカー事業がうまくいくとは思えない。町が不利益を被らない契約内容をしっかり示すべきではないかと考える。(味明地区)
- ・SSP構想が推進されることで得られる効果は、大郷町に今必要なものだと思います。これ以上の人口減少を食い止めるためにもスポーツX社さんの力をお借りしての事業展開を期待します。失敗してもいいんです。失敗しても、苦勞するのは事業をやるべきと考えた私たち若い世代です。今更大郷町に失うものは特にない。やらないよりやりましょう。(山崎地区)
- ・説明会に参加する前は構想がよくわからなかったのですが、詳しく説明をいただき、住民投票となれば賛成に回りたいと思いました。帰宅してから思ったのですが、反対されている議員さんはなぜ反対なのか聞けばよかったなと思いました。スポーツX社さんに対しての意見としては、サッカーに限らず、幅広いスポーツに対応できるような施設も検討いただければなと思います。(丸山地区)
- ・地域に密着しながら運営していくというスポーツX社の説明に、淡々としゃべる中にも熱意を感じられ、私なりに納得のいく説明会であったと思いました。何かを成し遂げるためにはリスクはついてまわります。一丸となって同じ方向を向けば、結果を残せるのではないかと思います。(丸山地区)
- ・大郷町に人口減少や農業の担い手不足、農業従事者の高齢化とかの問題点等が、この企業の誘致により、若い人たちに未来を託し、これからの大郷町を切り開いてもらいたい。(中村地区)